

事業活動報告

はじめに

今日の日本において、昨年の 3.11 以降人々の生活は先の見えない閉塞状態の時代に入ってしまったと言う方も多く見受けられます。確かに環境、エネルギー、原発、福祉、子育て、農林水産業、食の問題など多くの問題をかかえて、右往左往しているのは確かです。しかし、社会構造の変化の中で私たちはいま、新しい価値観と絆づくりを醸成していくことが急務となっています。このような状況下にあって、地域のあるべき未来の姿、『志をつなぎ、命や尊厳を大切にした“志縁社会”』の創造を目指して、ユニバーサル志縁社会創造センターは設立いたしました。



加藤会長と河田副代表理事のトークセッション

『志縁社会を目指して一支える・つなぐ・つむぐ想い』



2011年7月12日に開催した設立フォーラムの様子

2011年度は、設立母体である、NPO 事業サポートセンターと地域創造ネットワークからの事業移行期であるため、大半の事業は行われませんでした。中核事業と据えているユニバーサル就労については、ガイドブックの作成とシンポジウムが開催されました。

また、会員・理事の皆様からは会費や賛助会費など資金面で当法人を支えていただいたことをこの場を借りて御礼申し上げます。

1. ユニバーサルな地域社会づくり

(誰一人として孤立しない・させない地域社会)

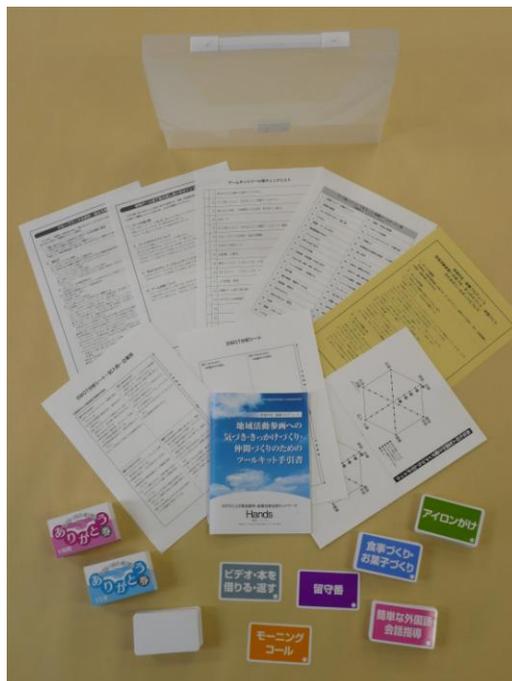
1) 地域における助け合い事業の支援

本団体の母体となった地域創造ネットワークジャパンが事務局を担い取り組んできた「NPOによる緊急雇用・就業応援全国ネットワーク Hands」(略称「ハンズ」)が展開してきた持続可能な地域の支えあい活動の担い手を育成する、「地域共生・協働プロデュース事業」(独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興事業、略称「WAM事業」)の事務局を担当し、以下の事業を推進した。

① 地域支え合いのためのツールキット 200 セットの作成

社会参加・地域活動参画への気づき・きっかけづくり・仲間づくりを、さらに、地域協働への視点を養うことを目的として、「人生豊かさ度ダイアグラム」「して欲しいこと・できること体験ゲームカード」「SWOT分析シート」「ファシリテーター用手引書」などをセットにしたツールキットの作成。ツールキットは、養成講座受講生や会員等希望者に配布した。

(キット回覧)



② モデル地区（愛知県知多市）での実験

組織で働いてきた人と、地域活動をしてきた人たちとが一堂に会して議論しつつ、身の回りの課題を整理して実験的に取り組むアクションプログラムを展開し、そのプロセスの中から地域支え合いの場をつくり出していく方法を探ることを目的として、連続講座3回の開催（10月29日、11月7日、11月21日於知多市市民活動センター・てらもと輪が家、延べ56人）、ネットワーク会議（2月14日24人、3月21日11人）、先駆的団体視察訪問（12月9日、わいわいハウス金華、犬山しみんていの会、視察者11人）などを展開した。実験団体：てらもと輪が家



③ 地域共生・協働プロデューサー養成講座の開催

「新しい公共」の場を創り出し、地域共生・協働をプロデュースしていく人材育成を目的として、石巻市と新宿区に於いて、それぞれ10時間研修（2日間）を行った。石巻：12月10日、11日参加者延べ54人、新宿：1月21日、1月29日参加者延べ37人。



新宿研修



石巻研修

④ 地域共生・協働プロデュースマニュアルの作成

モデル地区での実験や養成講座を通じて、地域共生・協働プロデュースのポイント等をまとめることを目的として、A4判2色刷り本文154ページの冊子を1000部作成し、関係団体、会員などに配布した。

なお、「ハンズ」はネットワーク組織であり、スタッフを抱えているわけではないため、人員は、NPO事業サポートセンタースタッフ及び、本事業推進のため雇用したアルバイトで進めたため、その人件費のみここでは発生している。

(マニュアル回覧)



2) 志縁をつなぐ文化祭

(芸術活動を通じて、地域のつながりをつくり、イベント開催)

震災直後から精力的に被災地へ支援活動を行ってきた会長・加藤登紀子が被災地での経験をもとに作成した楽曲「命結～ぬちゆい～」。この楽曲をより多くの人たちに聞いてもらうことで地域を元気づけていくことはできないかと検討を開始。

議論を通じ、「私の未来、私たちの明日、地域コミュニティの次の時代を切り開き、人と人、人と自然の活力を取りもどすためのイベント」として「加藤登紀子 命結～ぬちゆい～トークライブ」を企画し、各地で展開していくための準備を開始。24年度以降、イベント開催を推進していく予定。

2. ユニバーサル就労事業の推進

(精神的・身体的・社会的理由によって働きにくさを抱えている人とも一緒に、誰にとってもはたらきやすい職場づくり)

代表理事の池田が理事長を務める社会福祉法人生活クラブ風の村が先駆的に取り組む「ユニバーサル就労」を千葉県内のみならず全国に広げていくための活動を開始。具体的には「ユニバーサル就労」ガイドブックとシンポジウムを開催した。

1) ユニバーサル就労ガイドブックの作成

「ユニバーサル就労」の理解と普及を推進することを目的として、A5判2色刷り本文20ページの「ユニバーサル就労ガイドブック」2800部を作成した。

定価500円(会員価格300円)。



2) ユニバーサル就労シンポジウムの開催

平成24年1月28日(土曜)14時~17時田町交通ビル6階ホールに於いて、「ユニバーサル就労シンポジウム」を開催した。参加者は、スタッフ等を含む約150人。プログラムは以下の通り。

①ガイダンス「ユニバーサル就労のすすめ~私たちは会社ではたらいっています」

平田智子

②パネルディスカッション「ユニバーサル就労の広がりをつくるために」

コーディネーター西嶋美那子さん(元日本経団連 障害者雇用アドバイザー)

パネラー

安藤公一さん(構成労働省 社会/援護局総務課課長補佐)

杉山豊治さん(日本労働組合総連合会 雇用法制対策局局長)

浦田慶信さん(株式会社生活科学運営 代表取締役社長)

武田牧子さん(社会福祉法人 南高愛隣会 東京事務所所長)

池田 徹 (ユニバーサル志縁社会創造センター代表理事)

3) ユニバーサル就労支援事業

24年度以降各地でユニバーサル就労を推進するためのコーディネーター養成研修等企画案を作成。

※別紙1参照

3. ユニバーサル農業、環境配慮活動の推進

(高齢者・障害者・都市市民等、さまざまな人による農業の再生・環境活動の推進)

ユニバーサル農業を理解するために、役員に呼び掛けて、希望者5人で、浜松の京丸園株式会社を訪問し、ユニバーサル農業の現場を視察した。

視察者：兼間道子副代表と随行者、林良樹理事、松下典子理事、奈良 環
なお、往復交通費などは自己負担のため、費用は発生していない。



4. 社会的企業の主流化促進とNPO・企業の協働の推進

(地域の現場に根差した政策づくりや具体的参加の促進)

ユニバーサル志縁社会を実現するためには、「企業の社会的企業化」や「NPOと企業の協働」などが今よりももっと活発に行われなければならないと考えており、当団体では、企業のCSR活動の推進をしていくための企画検討やNPOがより活躍しやすい社会環境をつくるための政策提言サポートを実施している。

1) NPOと企業・労働組合・協同組合等との協働事業のコーディネート

事業に投資した資金に対する社会的便益を数値化する指標SROIを推進するために企業等にヒアリングを実施。

※別紙2参照

参考) ソーシャルイノベーションの加速に向けたSROIとSIB活用のススメ

<http://www.nri.co.jp/opinion/region/2012/pdf/ck20120203.pdf>

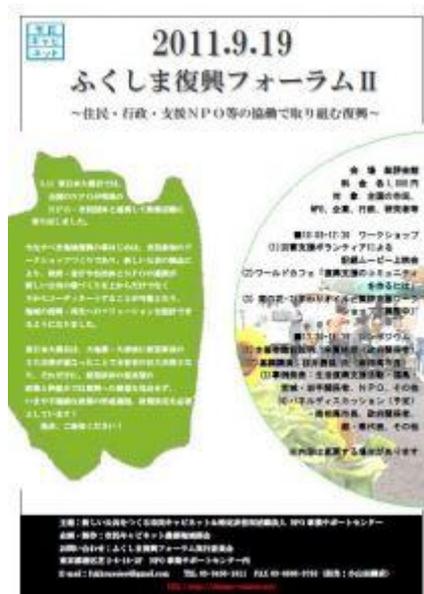
2) 政策提言プラットフォームの運営

NPOの政策提言プラットフォーム「新しい公共をつくる市民キャビネット」の事務局運営支援を行う。

市民キャビネットは2010年1月に発足以降、福祉、子ども・教育、農都地域、災害支援、地球社会・国際など分野ごとにNPOが分かれて部会を構成し、提言を取りまとめ、政府（内閣府新しい公共担当）へ提言を行ってきた。市民キャビネットの事務局はNPO事業サポートセンターが設立以来担ってきており、事業移行後は、当団体が運営をサポートしていく予定。

参考) 市民キャビネット HP <http://shimin-cabinet.net/>

下記は市民キャビネット主催2011年9月開催「ふくしま復興フォーラム」チラシ



5. 東日本大震災復興活動支援

(NPO・市民団体が取り組む東日本大震災復興活動を支援)

東日本大震災復興NPO支援・全国プロジェクト事務局支援

震災以降、被災地で活動するNPOを支援するためのプロジェクトを2011年4月に立ち上げ、その事務局を市民キャビネットが行ってきたことから、当団体も広報面でサポートを行った。具体的には市民・企業からの支援物資等を被災地や避難先のNPO等へコーディネートし提供した。また、継続的な活動を行う団体の情報をホームページやメールマガジンで配信している。

参考) 東日本大震災復興 NPO 支援・全国プロジェクト HP <http://www.fukkou-npo.jp/>



6. 事務局会議及び組織会議の開催

1) 事務局会議

事務作業に関しては事業サポートセンターに委託することとし、初年度は人件費をかけた方向ですすめた。主に、常務理事会の審議内容の検討や、各役員の事業意向確認などをしつつ、情報の共有につとめ、事務局会議を 10 回開催した。

なお、事務局会議メンバーは以下の通り。

池田徹代表理事、池本修悟専務理事、牧野昌子常務理事、事務局：平田智子、市川誠、小山田織音、奈良 環。

2) 常務理事会

① 第 1 回常務理事会

日時：8 月 30 日（火曜日）17 時～19 時

場所：ユニバーサル志縁社会創造センター会議室

出席者：池田徹理事、河田珪子理事、藤田和芳理事、池本修悟理事、井上肇理事、浦田慶信理事、北山陽一理事、西田京子理事、林良樹理事、平野覚治理事、牧野史子理事、牧野昌子理事、事務局：平田智子、奈良環

欠席者：兼間道子理事、水谷雄二理事、村上彰一理事、山崎唯司理事

確認事項 1. 遠方理事の交通費実費の支払い

遠方理事の交通費実費に関して、会議開催後、振込とする。

2. 事務局人員体制

基本的には、奈良（ボランティア）の他、事業サポートセンター市川・朝比奈・小山田が担い、事業展開に応じて、アルバイト・無償・有償

ボランティアを配置する。なお、事業サポートセンタースタッフに関しては、委託または人件費として、その費用を支払う。

- 審議事項 1. 事業計画・予算
2. 理事アンケート案
3. 入会促進
4. その他

②第2回常務理事会

日時：2011年11月15日12時～15時

場所：ユニバーサル志縁社会創造センター会議室

出席者：池田徹理事、藤田和芳理事、兼間道子理事、池本修悟理事、井上肇理事、林良樹理事、平野覚治理事、牧野史子理事、牧野昌子理事、山崎唯司理事 事務局：平田智子、奈良環、市川誠、小山田織音

欠席者：河田珪子理事、浦田慶信理事、北山陽一理事、西田京子理事、水谷雄二理事、村上彰一理事

- 審議事項 1. 1月28日ユニバーサル就労フォーラムについて
2. 理事アンケート及び事業展開等について
3. その他

③第3回常務理事会

日時：2012年1月28日（土曜日） 10時～12時

場所：ユニバーサル志縁社会創造センター会議室

出席者：池田徹理事、河田珪子理事、池本修悟理事、浦田慶信理事、西田京子理事、平野覚治理事、牧野昌子理事、村上彰一理事、事務局：平田智子、奈良環、市川誠

欠席者：兼間道子理事、藤田和芳理事、井上肇理事、北山陽一理事、水谷雄二理事、林良樹理事、牧野史子理事、山崎唯司各理事

- 審議事項 1. 新年度事業計画
2. 収支予算

④第4回常務理事会

日時：2012年3月29日 10時～12時

場所：ユニバーサル志縁社会創造センター会議室

出席者：池田徹理事、河田珪子理事、藤田和芳理事、池本修悟理事、林良樹理事、平野覚治理事、山崎唯司理事 事務局：平田智子、奈良環、市川誠、小山田織音

欠席者：兼間道子理事、井上肇理事、浦田慶信理事、北山陽一理事、牧野史子理事、牧野昌子理事、水谷雄二理事、村上彰一理事各理事

- 審議事項 1. 加藤登紀子トークライブの開催
2. ユニバーサル就労シンポジウム第2弾の開催

3. 新年度事業計画案

4. 収支予算案

3) 2011年度第1回理事会

日時：2011年7月12日（火曜）16時～16時30分

場所：田町交通ビル5階会議室

出席者：岩永牧人理事、更谷令治理事、上田正治理事、林良樹理事、齊藤克子理事、
牧野昌子理事、河口博行理事、庄妙子理事、池田徹理事、河田珪子理事、井上
肇理事、芳賀唯史理事、杉山さかゑ理事、林大介理事、西嶋美那子理事、松下
典子理事、野沢和弘理事、林諄理事、山崎唯司理事、村上彰一理事、藤田和芳
理事、牧野史子理事、西田京子理事、マエキタミヤコ理事、平野覚治理事、高
橋均理事、池本修悟理事、浦田慶信理事、前原東二監事、對馬昭次監事

議題：設立経過報告

代表理事の選出

4) 設立総会&トークセッション

日時：2011年7月12日（火曜）17時～18時45分

場所：田町交通ビル5階会議室

第1部設立総会 17時～17時50分

議題：ユニバーサル志縁社会創造センター趣旨説明、定款のポイント説明、事業計画

第2部トークセッション（18時～18時45分）

『志縁社会を目指して一支える・つなぐ・つむぐ想い』

加藤登紀子&河田珪子

大きな組織をつくることではなく、参加する一人ひとりと丁寧に向き合ってそれぞれの活動を素敵な花束にしていくことを確認した。参加者はスタッフを含む104人、なお、トークセッションのあとの交流会では、59人が参加した。